

VI 広島市観光施策の概要

1 目的

「活力にあふれにぎわいのあるまち」の実現に向け、即効性のあるにぎわいを誘導するため、広島ならではの「おもてなし」を基本姿勢に据え、ヒロシマという世界的な知名度や世界遺産、歴史を伝える魅力的な資源、豊かな自然をテコとしつつ、訪れた人に「また来てみたい」、「住んでみたい」と感じてもらえるよう、まち全体として「観光起こし」を推進する。

2 平成28年度の主な事業

(1) 都市のにぎわいづくりの推進

ア 観光イベントの実施

(ア) ひろしまフラワーフェスティバル

第40回ひろしまフラワーフェスティバルを5月3日（火）から5日（木）までの3日間開催する。40回目の節目となる今年は、記念コンサートにより音楽を通して平和の尊さを伝える企画などを実施し、中心部のにぎわいを創出する。

(イ) ゆかたできん祭（さい）

夏の風物詩である「ゆかた」をテーマとする「ゆかたできん祭」を6月3日（金）から5日（日）までの3日間開催する。メイン会場となる中央通りを2日間歩行者天国とし、ゆかたファッションショーや踊りなどのイベントを実施するとともに、袋町公園で飲食ブースを展開する。昨年に引き続き、三原市の「三原やっさ踊り」が参加し、本場の踊りで盛り上がるなど、中心部での夜のにぎわいを創出する。

(ウ) 広島みなと 夢 花火大会

広島港を舞台に「広島みなと 夢 花火大会」を7月23日（土）に開催する。「夢」をコンセプトに花火ミュージアムとして約1万発の花火を打ち上げ、夏の夜のにぎわいを創出する。

(エ) ひろしまライトアップ事業

広島の冬を代表する観光イベント「ひろしまドリミネーション」を平和大通りをはじめ市内中心部において11月17日（木）から1月3日（火）までの間で実施し、「おとぎの国」をコンセプトに夜のにぎわいを創出する。今年は、平和大通りにオープンカフェを設置する。

イ MICEの推進

(ア) グローバルMICE強化都市事業

本市は、観光庁が誘致ポテンシャル等の高い都市を選定し、集中的な支援を行う「グローバルMICE強化都市」に平成27年6月30日に選定された。

この国の支援事業を通じて、誘致活動に必要なノウハウの蓄積やスキルの向上を図るとともに、海外でのプロモーション活動の強化や地元MICE関係者との連携関係を構築するなど、更なるMICEの誘致・開催支援活動の充実・強化に取り組む。

(イ) MICE受入態勢の充実

広島広域都市圏域内の歴史的建造物・文化施設等の地域資源を活用し、魅力的なユニークベニューやアフターコンベンションの開発など、MICE(国際会議)の受入態勢を充実し、誘致に取り組む。

※MICEとは

Meeting 企業等の会議

Incentive Travel 企業等の行う報奨・研修旅行

Convention 国内外の機関・団体、学会等が行う会議

Exhibition/Event 展示会・見本市、イベント

(2) 観光プログラムの開発と充実

ア 世界遺産登録20周年観光キャンペーン

平成28年12月に原爆ドームと厳島神社が世界遺産登録20周年を迎える機会を捉え、広島県及び廿日市市と連携し、観光キャンペーンを実施する。

イ 広島湾航路活用促進事業

呉市、廿日市市及び江田島市と連携し、広島湾の航路を活用した周遊促進のため、キャラバン隊の派遣などのプロモーション活動等を行う。

ウ 広島城観光振興事業

広島城の観光資源としての魅力向上を図るため、広島城二の丸を拠点に活動する「安芸ひろしま武将隊」によるおもてなしやPR活動を行うとともに、広島城の堀を活用した遊覧船の運航を行う。

エ 広島神楽振興事業

神楽を広島の観光資源としてメニュー化するため、旧日本銀行広島支店において神楽の公演を行うとともに、湯来ロッジにおいて定期公演や共演大会を行うことにより「神楽の里」としての環境づくりを行う。

オ 「食」による観光振興

「食」をテーマに市内や広島広域都市圏の市町の周遊を促進する観光キャンペーンを実施する。

(3) 来広者への「おもてなし」

ア 外国人旅行者の受入環境整備

(ア) Hiroshima Free Wi-Fi プロジェクト

近年、着実に増加している外国人旅行者が、必要な情報をストレスなく入手し、快適に周遊、滞在できるよう、民間事業者と連携し、フリーWi-Fi 環境の充実と接続環境の改善に取り組む。

- ・ フリーWi-Fi の面的拡大（マツダスタジアムにWi-Fi 拠点設置）
- ・ フリーWi-Fi の利用実態の把握
- ・ 観光情報等（観光施設、飲食店等）の発信

(イ) 外国人旅行者向け観光ボランティアガイド活動の運営

J R広島駅に到着した外国人旅行者に対して、「広島ならではの」のおもてなしの観点から、ボランティアガイドが英語でのあいさつや簡単な道案内等の観光案内を行う。

イ 「広島おもてなしパス」の発行

市内宿泊施設利用者に対するサービスの向上を図るため、市内交通機関の一日乗車券と観光施設や飲食店の優待券をセットにした「広島おもてなしパス」の利用促進を図る。

ウ タクシーおもてなし向上推進事業

タクシー乗務員に対し、広島ならではの「おもてなし」ができるよう、観光や平和に関する基礎的な研修や観光地視察などの実践的な研修を行う。

エ 平和記念公園レストハウスの改修（被爆 70 周年記念事業）

国の名勝である平和記念公園内に存在する被爆建物である平和記念公園レストハウスを観光資源として活用するため、耐震補強や地下部の保存を行うとともに、レストハウス機能を拡充するよう、文化庁と協議しながら、改修を行う。

- | | |
|----------|----------------------|
| 26 年度 | 老朽度・耐震診断調査（完了） |
| 27 年度 | 地質調査（完了）、耐震補強計画（継続中） |
| 28 年度 | 耐震補強計画、実施設計 |
| 29・30 年度 | 実施設計、工事、オープン |

オ 「水の都ひろしま」づくりの推進

(ア) 京橋川オープンカフェの新規展開

京橋川左岸にも新たに水辺のオープンカフェを設置する。

- | | |
|-------|----------|
| 28 年度 | 1 店舗開業 |
| 29 年度 | 1 店舗開業予定 |

(イ) 水の都ひろしま推進協議会の運営

水の都ひろしま推進協議会（市民団体、学識経験者、国・県・市で構成）で、次の事業を実施する。

a 水辺のコンサート

春と秋の土・日曜日などに、原爆ドーム対岸親水テラスで、年 20 回程度のコンサートを開催する。

ｂ 水辺のオープンカフェ

京橋川、元安川の河岸緑地で合計9店舗のオープンカフェを実施する。

カ クルーズ客船の誘致

近年の世界的なクルーズ需要を地域活性化につなげるため、広島県や関連団体等と連携し、広島県が主催する「広島港客船誘致・おもてなし委員会」を通じて、客船誘致を推進するとともに、受入の充実を図る。

(4) 近隣市町等との連携による広島情報の発信

ア 広島広域都市圏域市町と連携した広域観光情報発信サイトの開発・運用

国内外から広島広域都市圏域への観光需要を拡大させるため、圏域内の魅力的な観光素材を有機的に結び付け、一体的に発信するとともに、外国人のニーズに沿って言語圏域ごとに適した圏域内の観光情報を効果的かつ直接的に提供できるよう、本市の観光ホームページを全面リニューアルし、広島広域都市圏域を訪れる外国人旅行者を含めた旅行者の増加及び滞在の長期化を図る。

イ ビジット・ジャパン地方連携事業

本市への外国人観光客の着実な増加を図るため、V J（ビジット・ジャパン）地方連携事業を活用し、国、県等の関係機関と連携した海外プロモーション活動やインバウンド商品化事業等に取り組む。今年度は対象国を4か国（フランス・中国・台湾・タイ）から8か国（アメリカ、香港、韓国、オーストラリアを追加）に拡大する。